

会計名			高齢者能力活用事業				担当部		福祉健康部		
一般会計							担当課		長寿課		
款	項	目					担当係		長寿生きがい係		
3	1	3									
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心								
		基本施策	高齢者福祉								
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり								
	目的	公益社団法人刈谷市シルバー人材センターが実施する、定年退職者等に対する就業機会の確保を始めとする諸活動を支援し、高齢者の能力開発及び生きがいづくりを図る。				主たる内容	公益社団法人刈谷市シルバー人材センターに、補助金を交付する。				
		位置づけ									
		関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画								
		根拠法令	高年齢者等の雇用の安定等に関する法律								
	対象者	刈谷市シルバー人材センター				事業期間	昭和54年度～				
	実施方法	☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他									
	BDO 事業実績 計画 実施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画			
・補助金の交付 24,093,600円		・補助金の交付 24,643,134円		・補助金の交付 27,612,250円		・補助金の交付 45,848,000円					
成果		シルバー人材センターの円滑な運営を支援し、高齢者の能力活用及び生きがいづくりを図ることができた。									
課題		経済情勢の変化にともない、企業等からの発注が減少傾向にあり、新たな就業先の確保が必要である。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度			
活動指標		シルバー人材センター会員数（人）				533	537	580	580	—	
指標											
他市との比較検証		近隣市の会員数（年度末時点） 令和6年度 碧南市 564人、安城市 1,042人、知立市 435人、高浜市 435人 令和5年度 碧南市 564人、安城市 1,068人、知立市 428人、高浜市 433人 令和4年度 碧南市 581人、安城市 1,083人、知立市 454人、高浜市 430人									
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳			
	事業費①		24,094	24,643	27,612	46,148	合計 27,612,250円				
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 27,612,250円				
		一般財源	24,094	24,643	27,612	46,148					
	職員人件費②		527	384	637	648					
	総事業費（①+②）		24,621	25,027	28,249	46,796					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称					
		6年度までの累積事業費		0							
8年度以降の事業費見込		0									

会計名			高齢者能力活用事業		担当部	福祉健康部
一般会計					担当課	長寿課
款	項	目			担当係	長寿生きがい係
3	1	3				
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価				評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	高齢者の社会参加や生きがいづくりは認知症予防等にも効果的であり、今後の更なる高齢化の進行に伴いより一層意義が高まると思われるため、その事業の運営を支援していくことは必要である。	
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		高い	退職後も労働意欲を持つ高齢者に対しての雇用を創出するうえで、高齢者の雇用に関するノウハウを有するシルバー人材センターに対して補助金を交付することは効率性が高く妥当である。	
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		高い	高齢者を雇用するための窓口としてシルバー人材センターは非常に有効な手段であるが、営利を目的としていないため、事業の安定性、継続性を確保するためには市が主体となって実施する必要がある。福祉政策の一環としても重要であり、総合計画に位置付けられた施策である。	
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		高い	高齢者の生きがいづくりのための主要な方法として、高齢者の社会参加の促進に寄与している。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	シルバー人材センターの会員数は増加傾向にあり、健康の維持・増進や生きがいづくり・社会参加を目的として入会する会員が多い。 今後も引き続きシルバー人材センターの活動を支援することで、就労意欲のある高齢者が働き続けられる環境づくりに努める。					

会計名			高齢者の生きがいと健康づくり推進事業				担当部		福祉健康部				
一般会計							担当課		長寿課				
款	項	目					担当係		長寿生きがい係				
3	1	3											
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心										
		基本施策	高齢者福祉										
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり										
	目的	いきいきクラブ活動等を通じて、高齢者の生きがいづくりと社会参加を促進するとともに、心と身体の健康づくりを推進する。				主たる内容	○いきいきクラブ連合会及び単位クラブへ補助金の交付 ○高齢者を対象としたスポーツ大会や世代間交流行事等の実施						
		位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画										
		根拠法令											
		対象者	クラブ会員および60歳以上の高齢者				事業期間	昭和56年度～					
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他											
	BDO 事業実績 計画 実施 V	4年度実績	いきいきクラブ連合会及び単位クラブ（53クラブ）へ補助金の交付 ・ゲートボール大会 ・グラウンド・ゴルフ大会 ・おじいちゃんとおばあちゃんに行く東山動植物園 ・簡易健康度評価										
			5年度実績	いきいきクラブ連合会及び単位クラブ（52クラブ）へ補助金の交付 ・ゲートボール大会 ・グラウンド・ゴルフ大会 ・おじいちゃんとおばあちゃんに行く東山動植物園 ・簡易健康度評価									
6年度実績				いきいきクラブ連合会及び単位クラブ（52クラブ）へ補助金の交付 ・ゲートボール大会 ・グラウンド・ゴルフ大会 ・おじいちゃんとおばあちゃんに行く東山動植物園 ・簡易健康度評価									
				7年度計画 いきいきクラブ連合会及び単位クラブ（49クラブ）へ補助金の交付 ・ゲートボール大会 ・グラウンド・ゴルフ大会 ・おじいちゃんとおばあちゃんに行く東山動植物園 ・簡易健康度評価									
成果		いきいきクラブ連合会及び各単位クラブへ補助金を交付し、活動を支援することで、自主的に様々な活動を企画運営することができ、会員の生きがいと健康づくりを推進することができた。 高齢者を対象としたスポーツ大会の開催や世代間交流を図る行事等により、高齢者の生きがいと健康づくりを推進することができた。											
課題		単位クラブの会員数は年々減少しており、活動内容の見直しや加入勧奨に工夫をし、クラブ数及び会員数の維持を図る必要がある。 参加者が少ない行事については、参加を呼びかける努力をするとともに、事業内容について見直す必要がある。											
指標名称（単位）		実績値				目標値							
		4年度				5年度		6年度		7年度		9年度	
		活動指標	いきいきクラブ加入者数（人）				5,958	5,508	5,260	5,260	—		
		活動指標	いきいきクラブ加入率（％）				15.4	14.1	13.3	13.1	—		
他市との比較検証	近隣市においても、老人クラブ活動を支援するため同じような内容の事業を実施している。												
C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳						
	事業費①		6,517	6,226	6,347	6,706	合計 6,347,182 円						
	財源	特定財源	1,702	1,651	1,651	1,612	委託料 712,275 円						
		一般財源	4,815	4,575	4,696	5,094	負担金、補助及び交付金 5,634,907 円						
	職員人件費②		3,463	4,680	4,858	0							
	総事業費（①＋②）		9,980	10,906	11,205	6,706							
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称							
		6年度までの累積事業費		0		いきいきクラブ連合会補助金（県）							
8年度以降の事業費見込		0		いきいきクラブ補助金（県）									

会計名			高 齢 者 の 生 き が い と 健 康 づ く り 推 進 事 業		担当部	福祉健康部
一般会計					担当課	長寿課
款	項	目			担当係	長寿生きがい係
3	1	3				
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価				評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	高齢者が自分の住んでいる地域で、仲間づくりや生きがいと健康づくりができるいきいきクラブの役割は重要であり、必要度は高い。	
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		高い	補助金を交付することにより、連合会及び単位クラブの活動の活性化を図ることができる。	
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		高い	各単位クラブが主体となって様々な活動を行うことにより、市が主体となってはできないような、地域の実情に合ったきめ細かい対応ができるため、市としては補助金を交付して各クラブの活動を支援する方法が適切である。	
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		高い	いきいきクラブの活動を活性化することにより、総合計画の目標である、高齢者の社会参加・生きがいづくりを達成することができる。	
	今後の方向性		□拡充 ■現状維持 □改善・効率化 □縮小 □終期設定 □休止・廃止			
	いきいきクラブの会員数は全国的に減少傾向にあり、特に60歳代の若年高齢者の加入率が低い。これは、定年の延長により引き続き就労する方や、自分なりのライフスタイルを持っている方が多くなっていることが一因である。 一方で、更に進行する高齢化社会においては介護予防や地域支援事業の枠組みの中で、高齢者の生きがいと健康づくりの推進を図るための主要な方法としていきいきクラブ活動には大きな期待が寄せられているため、いきいきクラブ連合会及び単位クラブにおいて、クラブ数及び会員数の維持を目指してより魅力的な活動内容を検討する。					

会計名			魅力あふれる介護の職場づくり支援事業				担当部		福祉健康部		
一般会計							担当課		長寿課		
款	項	目					担当係		介護保険企画係		
3	1	3									
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心								
		基本施策	高齢者福祉								
		施策の内容	介護サービスの充実								
	目的	介護人材の確保及び定着並びに介護職に対するイメージの向上を図るため、介護事業所が実施する職場環境の改善、業務効率の向上等に関する優れた取組を表彰する。 また、取組内容を広く周知し、他の事業所も同様に改善が図られるよう推奨することで、さらなる良質な介護サービスの提供を確保する。				主たる内容	○改善取組の募集 ○応募内容の審査 ○表彰式の開催 ○全改善取組の周知				
		位置づけ									
		関連計画									
		根拠法令	刈谷市魅力あふれる介護の職場づくり表彰制度実施要綱								
		対象者	介護サービス事業者			事業期間	令和6年度　～				
		実施方法	■直営　□委託　□指定管理　□補助・助成　□その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画			
				・働きやすい職場づくりのための取組　0件 ・業務効率化の取組　2件 ・人材育成のための取組　0件 ・離職防止及び定着促進に向けた取組　2件		・働きやすい職場づくりのための取組　2件 ・業務効率化の取組　3件 ・人材育成のための取組　2件 ・離職防止及び定着促進に向けた取組　3件					
成果		応募のあった取組に対して、審査委員会を実施し、表彰式を開催した。また、取組内容を本市ホームページ等で広く周知したことに加え、表彰式について報道提供し、ケーブルテレビで放送することができた。									
課題											
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度			
活動指標		応募件数（件）				—	—	4	10	—	
活動指標											
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	0	49	61	合計 49,100 円				
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費 42,500 円				
		一般財源	0	0	49	61	需用費 6,600 円				
	職員人件費 ②		0	0	876	891					
	総事業費（①＋②）		0	0	925	952					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	6年度特定財源名称						
		6年度までの累積事業費		0							
		8年度以降の事業費見込		0							

会計名			魅力あふれる介護の職場づくり支援事業	担当部	福祉健康部	
一般会計				担当課	長寿課	
款	項	目		担当係	介護保険企画係	
3	1	3				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	国から介護人材の確保に関する施策の推進が求められており、今後、高齢者人口の増加及び介護サービス利用者の増加が見込まれることも踏まえ、介護人材の確保に関する取組が必要であるため。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	高い	職場環境の改善、業務効率の向上等に関する優れた取組を表彰し、受賞取組内容を周知することにより、他事業所においても同様の改善取組を実施することができるため。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	普通	受賞取組を実施した事業所に対して、他事業所が詳細を確認するなど、事業所間の横のつながりを確保することができた場合は、事業所間で連携を図りながら職場環境の改善、業務効率の向上等に関する取組を実施することが可能となるため。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	職場環境の改善、業務効率の向上等に関する優れた取組を周知することにより、より働きやすい職場環境を整備することに加え、改善取組を通じて事業所間の横のつながりを確保できることが可能となるため。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	今後も本事業を継続して実施し、職場環境の改善、業務効率の向上等に関する優れた取組を促進することにより、介護人材の確保及び定着並びに介護職に対するイメージの向上を図る。					

会計名			介護人材確保・育成支援事業				担当部		福祉健康部			
一般会計							担当課		長寿課			
款 項 目							担当係		介護保険企画係			
3 1 3												
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心									
		基本施策	高齢者福祉									
		施策の内容	介護サービスの充実									
	目的	介護人材の確保・育成・定着の取組を促進することで、本市の安定的な介護保険制度の運営を図る。				主たる内容	○介護に関する入門的研修を実施する。 ○介護職員初任者研修の資格取得及び主任介護支援専門員の資格取得・更新に必要な研修に係る費用に対して、補助金を交付する。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画									
		根拠法令	主任介護支援専門員研修費補助金交付要綱、介護職員初任者研修費補助金交付要綱									
		対象者	刈谷市在住、在勤、在学の方 他				事業期間	令和3年度 ～				
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他										
BDO 事業実績 計画 実施 V	4年度実績		5年度実績			6年度実績			7年度計画			
	・介護に関する入門的研修参加者 20人 ・介護職員初任者研修費補助制度利用者 10人 ・主任介護支援専門員研修費補助制度利用者 9人		・介護に関する入門的研修参加者 20人 ・介護職員初任者研修費補助制度利用者 16人 ・主任介護支援専門員研修費補助制度利用者 6人			・介護に関する入門的研修参加者 20人 ・介護職員初任者研修費補助制度利用者 8人 ・主任介護支援専門員研修費補助制度利用者 6人			・介護に関する入門的研修参加者 30人 ・介護職員初任者研修費補助制度利用者 15人 ・主任介護支援専門員研修費補助制度利用者 15人			
	成果	介護保険事業計画における重点施策に介護人材の育成支援を掲げ、研修制度の活用促進に向けて、公式LINEやデジタルサイネージを用いた周知、刈谷公共職業安定所へパンフレットを配付したことにより、介護人材の確保・育成・定着に向けた支援制度を推進することができた。										
	課題											
	指標名称（単位）					実績値			目標値			
						4年度	5年度	6年度	7年度	9年度		
	活動指標	研修参加者数（人）					20	20	20	30	—	
	活動指標	補助制度利用者数（人）					19	22	14	30	—	
	他市との比較検証											
	C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳				
事業費 ①		1,059	1,121	928	1,799	合計 928,000 円						
財源		特定財源	577	578	567	973	委託料 497,200 円					
		一般財源	482	543	361	826	使用料及び賃借料 10,800 円					
職員人件費 ②		75	77	876	891	負担金、補助及び交付金 420,000 円						
総事業費（①+②）		1,134	1,198	1,804	2,690							
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称						
		6年度までの累積事業費		0		介護普及啓発事業費補助金（県）						
		8年度以降の事業費見込		0		介護人材資質向上事業費補助金（県）						

会計名			介護人材確保・育成支援事業		担当部	福祉健康部
一般会計					担当課	長寿課
款	項	目			担当係	介護保険企画係
3	1	3				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	介護保険制度施行後、要介護（要支援）認定者数の増加とともにサービス量も増加していることから、介護人材の確保やより専門性の高い介護人材の育成が喫緊の課題となっている。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	愛知県地域医療介護総合確保基金事業（介護従事者確保分）補助金交付要綱に基づく、補助対象事業である。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	新たな介護人材の確保、介護職員の離職率の低減及び資質の向上を促進することを目的とした事業であり、安定的な介護保険制度の運営を図るため、市が主体となって実施すべきものである。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	新たな介護人材の確保、介護職員の離職率の低減及び資質の向上は、安定的な介護保険制度の運営と介護サービスの充実に繋がるものである。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	高齢化の進行に伴い、介護人材の確保・育成・定着は急務であり、今後も介護職に対するニーズは高まることが予測されるため、継続して事業を実施し、介護職への関心を喚起するとともに、入職者のすそ野を広げ、人材の参入促進と資質の向上、育成支援を図る。					

会計名			高齢者外出促進事業				担当部		福祉健康部		
一般会計							担当課		長寿課		
款	項	目					担当係		長寿生きがい係		
3	1	3									
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心								
		基本施策	高齢者福祉								
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり								
	目的	市内在住の60歳以上の高齢者を対象に、市LINE公式アカウントのショッピングカードにポイントを付与することで、高齢者の外出機会の創出及びにぎわいの創出を図る。				主たる内容	高齢者が市内の対象施設等に設置された専用QRコードを読み取ることで、市LINE公式アカウントのショッピングカードに刈谷市商店街連盟商品券と交換できるポイントを付与する。				
		位置づけ									
		関連計画									
		根拠法令									
	対象者	60歳以上の高齢者				事業期間	令和5年度～令和6年度				
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他									
	BDO 事業実績 計画 実施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画			
		・実施期間 令和5年11月1日～令和6年1月19日 ・対象施設等 21箇所		・実施期間 令和6年11月1日～令和6年12月27日 ・対象施設等 20箇所							
成果		高齢者の外出機会の創出を図ることができた。									
課題		対象施設等へ出向く際の自家用車利用率が高いことなどから、健康増進としての事業効果の検討が必要である。									
指標名称（単位）				実績値		目標値					
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度			
活動指標		参加者数（人）				—	6,039	7,841	—	—	
活動指標											
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	24,487	17,865	0	合計	17,865,205 円			
	財源	特定財源	0	10,461	0	0	報償費	16,348,500 円			
		一般財源	0	14,026	17,865	0	需用費	760,705 円			
	職員人件費 ②		0	2,379	0	0	役務費	756,000 円			
	総事業費（①+②）		0	26,866	17,865	0					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	6年度特定財源名称						
		6年度までの累積事業費		0							
8年度以降の事業費見込		0									

会計名			高 齢 者 外 出 促 進 事 業		担当部	福祉健康部
一般会計					担当課	長寿課
款	項	目			担当係	長寿生きがい係
3	1	3				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	普通	高齢者の外出意欲の向上、外出機会の増加を図ることにより、高齢者の社会的孤立の防止に繋がる。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	L I N Eを活用することで、ショッピングカード機能が無料で利用できる。また、刈谷市公式L I N Eと友だち登録をしてもらうことにより、情報発信ツールの充実を図ることができる。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	普通	総合計画での目指すべき姿である「高齢者の社会参加・生きがいづくり」の実現に向けて、市が主体となって実施すべき事業である。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	普通	高齢者の外出意欲向上、外出機会増加を図ることで、高齢者の社会的孤立の防止を推進することができる。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	【概 要】 対象者 市内在住の60歳以上の高齢者 実施期間 令和6年11月1日～令和6年12月27日 特典内容 ポイントの付与数に応じた刈谷市商店街連盟商品券（最大3,000円分） 25ポイントで刈谷市商店街連盟商品券2,000円分と交換 45ポイントで刈谷市商店街連盟商品券1,000円分と交換 参加者数 7,841人					

会計名			高齢者日常生活支援事業				担当部		福祉健康部	
一般会計							担当課		長寿課	
款	項	目					担当係		高齢福祉係	
3	1	3								

PLAN 事業概要 計画 V	A	総合計画 施策体系	分野	福祉安心								
			基本施策	高齢者福祉								
			施策の内容	高齢者への生活支援								
		目的	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の日常生活を支援し、福祉の増進を図る。				主たる内容	○携帯型緊急通報機器の貸与 ○固定型緊急通報システムの設置 ○声の訪問の実施 ○火災警報器の給付 ○家具転倒防止器具の取付 ○布団乾燥等の実施 ○終活情報キットの配付				
			関連計画						刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画			
			根拠法令						刈谷市在宅高齢者見守り安心事業実施要綱、刈谷市緊急通報システム設置事業実施要綱 他			
			対象者					※主たる内容に記載		事業期間	昭和60年度～	
			実施方法						■直営 ■委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他			
		B 事業実績 O 実施 V	D	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画		
				・携帯型緊急通報機器 577人 ・固定型緊急通報システム 48人 ・声の訪問 49人 ・日常生活用具 27人 ・家具転倒防止器具 5世帯 ・布団乾燥等 71人 ・友愛訪問 2人		・携帯型緊急通報機器 601人 ・固定型緊急通報システム 49人 ・声の訪問 44人 ・日常生活用具 8人 ・家具転倒防止器具 9世帯 ・布団乾燥等 67人 ・友愛訪問 1人		・携帯型緊急通報機器 620人 ・固定型緊急通報システム 47人 ・声の訪問 44人 ・火災警報器 12人 ・家具転倒防止器具 14世帯 ・布団乾燥等 71人 ・終活情報キット配付 164人		・携帯型緊急通報機器 630人 ・固定型緊急通報システム 55人 ・声の訪問 50人 ・火災警報器 15人 ・家具転倒防止器具 10世帯 ・布団乾燥等 80人 ・終活情報キット配付 100人		
成果	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯等が安全に安心して生活できるよう、日常生活の支援となる各種福祉サービスを提供し、福祉の増進を図ることができた。 また、単身高齢者に対する「もしもの時」の支援体制を整備するため、現行配布している救急医療情報キットと合わせて保管できる終活情報セットの配布を新たに開始した。											
課題	高齢化の進行に伴い、ひとり暮らし高齢者の増加が見込まれるため、見守りサービスの充実及びより一層の周知啓発が必要である。											
指標名称（単位）				実績値			目標値					
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度				
活動指標	携帯型緊急通報機器・固定型緊急通報システム利用者数（人）			625	650	667	685	700				
活動指標	布団乾燥等利用者数（人）			71	67	71	80	90				
他市との比較検証												
C 事業コスト	V			単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
		事業費 ①		21,997	23,723	26,790	29,439	合計	26,790,028 円			
		財源	特定財源	69	62	57	69	需用費	660,000 円			
			一般財源	21,928	23,661	26,733	29,370	役務費	18,651 円			
		職員人件費 ②		5,346	5,294	5,734	5,588	委託料	25,983,997 円			
		総事業費（①＋②）		27,343	29,017	32,524	35,027	扶助費	127,380 円			
		建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称					
			6年度までの累積事業費		0		在宅福祉事業一部負担金					
8年度以降の事業費見込			0									

会計名			高年齢者日常生活支援事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	高齢福祉係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	高齢者のひとり暮らしや高齢者のみの世帯は、急病や事故等の緊急時に不安を抱えている方が多く、見守りや事故防止につながる生活支援や緊急通報システムの必要性は高い。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		普通	火気取扱いや布団乾燥など、高齢者では扱いが難しい動作について、事故の無いようにフォローできる事業であるが、利用のきっかけがケアマネージャーや民生委員、包括支援センター等職員の勧めであることが多く、他者の客観的介入が必要と思われる。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		高い	高齢者が住み慣れた地域で長く在宅で生活するため、サービスの充実を図り市が実施すべき事業である。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		高い	刈谷市高齢者福祉計画に基づき、高齢者が住みなれた地域や家庭で生活を営めるよう、在宅生活を支援するための事業として実施している。
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止		
	ひとり暮らし高齢者の増加に伴い、見守りサービスの重要性が高まっているため、より一層の周知を図る必要がある。				

会計名			高齢者タクシー助成事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	高齢福祉係		
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者への生活支援							
	目的	高齢者に対し、タクシー料金の一部を助成することにより、外出及び医療機関への通院等を支援し、福祉の増進を図る。				主たる内容	○高齢者タクシー 要支援2以上、かつ、市民税非課税世帯の65歳以上の高齢者に対し、タクシー料金助成利用券（上限830円）を一月当たり3枚交付する。 ○介護タクシー 要介護1以上、かつ、特殊車両の必要な65歳以上の高齢者に対し、車椅子昇降機付き車両又は寝台付車両のタクシー料金助成利用券（上限4,600円）を一月当たり3枚交付する。			
		位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	刈谷市高齢者タクシー料金助成事業実施要綱、刈谷市介護タクシー料金助成事業実施要綱							
		対象者	※主たる内容に記載				事業期間	平成14年度～		
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画		
		・高齢者タクシー料金助成利用券交付人数 266人 ・介護タクシー料金助成利用券交付人数 470人		・高齢者タクシー料金助成利用券交付人数 298人 ・介護タクシー料金助成利用券交付人数 548人		・高齢者タクシー料金助成利用券交付人数 323人 ・介護タクシー料金助成利用券交付人数 611人		・高齢者タクシー料金助成利用券交付人数 380人 ・介護タクシー料金助成利用券交付人数 670人		
成果		タクシー料金助成利用券の交付により、外出が必要であってもその手段がない状況の解消を図るとともに、タクシー利用時における利用者負担の軽減を図るため、利用券の上限額を引き上げ、高齢者の外出支援を図ることができた。								
課題		介護タクシー券の利用率が約30%と低いため、利用率を上げる取組が必要である。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度		
活動指標		高齢者タクシー料金助成利用券利用率（%）		61.2	58.5	63.2	63.3	63.3		
活動指標		介護タクシー料金助成利用券利用率（%）		29.7	25.8	31.5	34.1	34.1		
他市との比較検証		県内約半数の市で同様の事業を実施している。 1回の乗車につき1枚の利用に制限している市が多い。								
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
	事業費 ①		19,798	24,571	28,364	28,723	合計	28,363,816 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	663,966 円		
		一般財源	19,798	24,571	28,364	28,723	役務費	641,000 円		
	職員人件費 ②		1,732	2,532	1,832	2,268	扶助費	27,058,850 円		
	総事業費（①+②）		21,530	27,103	30,196	30,991				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称				
		6年度までの累積事業費		0						
8年度以降の事業費見込		0								

会計名			高 齢 者 タ ク シ ー 助 成 事 業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	高齢福祉係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	高齢者の医療機関への通院を支援するとともに、閉じこもり防止、買い物等生活におけるの移動手段としても重要な事業である。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		普通	タクシーの事業所等と連携し、高齢車の移動手段の確保として有効な事業である。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		普通	総合計画において、安心安全に移動できる交通移動環境の形成を目指し、交通弱者の移動支援の充実を課題認識されている。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		高い	対象者要件及び利用条件の拡充により、利用率が向上したため。
	今後の方向性		□拡充 □現状維持 ■改善・効率化 □縮小 □終期設定 □休止・廃止		
	高齢者の外出促進を図るため、利用率を上げる取組を検討する。				

会計名			住宅改善費等補助事業				担当部	福祉健康部			
一般会計							担当課	長寿課			
款	項	目					担当係	介護認定給付係			
3	1	3									
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心								
		基本施策	高齢者福祉								
		施策の内容	介護サービスの充実								
	目的	高齢者が住み慣れた自宅で安心して生活できるよう住宅改善費等の一部を補助することにより、高齢者の自立支援及び介護者の負担軽減を図る。				主たる内容	○住宅改善費 要介護認定者等の住宅改善費用が介護保険上限額（20万円）を超えた場合に、超えた費用の一部を補助する。 ○介護支援ベッド貸与利用料 離床動作が困難な軽度（要支援1・2、要介護1）の要介護認定者等へ、介護支援ベッドの貸与利用料の一部を補助する。 ○住宅バリアフリー化工事費 要介護認定等を受けていない高齢者の住宅バリアフリー化工事費の一部を補助する。（上限額10万円）				
		位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	刈谷市住宅改善費補助金交付要綱 刈谷市高齢者住宅バリアフリー化工事費補助金交付要綱								
	対象者	※主たる内容に記載				事業期間	平成12年度～				
	実施方法	☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他									
	BDO 事業実績 計画V	4年度実績	・住宅改善費 補助人数 204人 補助金額 22,827,166円 ・介護支援ベッド貸与利用料 補助人数 167人 補助金額 4,466,475円 ・住宅バリアフリー化工事費 補助人数 89人 補助金額 7,282,412円								
			5年度実績	・住宅改善費 補助人数 158人 補助金額 16,056,117円 ・介護支援ベッド貸与利用料 補助人数 168人 補助金額 4,338,564円 ・住宅バリアフリー化工事費 補助人数 67人 補助金額 5,480,913円							
6年度実績				・住宅改善費 補助人数 155人 補助金額 15,717,303円 ・介護支援ベッド貸与利用料 補助人数 172人 補助金額 4,773,456円 ・住宅バリアフリー化工事費 補助人数 68人 補助金額 5,383,737円							
				7年度計画	・住宅改善費 補助人数 200人 補助金額 21,063,140円 ・介護支援ベッド貸与利用料 補助人数 190人 補助金額 5,033,119円 ・住宅バリアフリー化工事費 補助人数 100人 補助金額 8,100,000円						
成果		高齢者が住み慣れた自宅で安心して生活できる住環境が整えられた。									
課題		高齢化率の上昇に伴う補助人数及び補助額の増加に対する適切な審査と予算執行を行う必要がある。									
指標		指標名称（単位）				実績値		目標値			
						4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
		活動指標	住宅改善費補助人数（人）				204	158	155	200	200
		活動指標	住宅バリアフリー化工事費補助人数（人）				89	67	68	100	100
他市との比較検証	住宅改善費補助は、西三河9市すべてで実施していたが、岡崎市は令和6年度をもって廃止した。補助上限額や補助対象者の抽出方法については、市町村独自の算定により事業を展開している。										
C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳				
	事業費 ①		34,870	26,124	26,088	34,540	合計 26,088,496 円				
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 26,088,496 円				
		一般財源	34,870	26,124	26,088	34,540					
	職員人件費 ②		226	230	239	243					
	総事業費（①+②）		35,096	26,354	26,327	34,783					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称					
		6年度までの累積事業費		0							
8年度以降の事業費見込		0									

会計名			住宅改善費等補助事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	介護認定給付係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		普通	本補助事業は介護保険の給付対象を超えたものであるが、要介護認定を受けるなど身体機能の低下が生じる高齢者が毎年一定数生じているため、住宅改修や介護支援ベッドのニーズも発生し続けている。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		普通	住宅改善費補助では、介護保険給付と市補助金をまとめて申請できるようにするなど、申請者の利便性と事務の効率化が図られている。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		高い	総合計画で掲げる「全ての高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができる」ことを実現するために必要な補助事業である。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		高い	自宅改修費を補助することで、高齢者が住み慣れた家で安心して暮らすことができ、総合計画の施策に直接貢献する事業である。
	今後の方向性		□拡充 ■現状維持 □改善・効率化 □縮小 □終期設定 □休止・廃止		
	住宅改善費等補助は、高齢化が進む中、第5期刈谷市介護保険事業計画・高齢者福祉計画の重点課題である地域包括ケアシステムの推進施策である高齢者の住まいの整備を促進するため、平成25年6月より補助対象改修費の上限額を10万円から20万円に拡充すると同時に、100%であった補助率を介護保険の給付率に合わせて自己負担も求め補助制度の適正化を図った。 令和6年度からの第9期刈谷市介護保険事業計画・高齢者福祉計画においても、安心な生活環境の整備として高齢者に配慮した住まいの充実を掲げており、継続して事業を実施していく。				

会計名			高齢者施設等感染症対策支援事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	介護保険企画係	
3	1	3							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	感染症のまん延等不測の事態に備え、事業者に対する感染症対策のための支援を行うことで、介護サービスの継続的な提供体制を確保する。				主たる内容	○感染管理認定看護師の派遣 ○簡易陰圧装置設置に必要な経費に対する補助金 ○ゾーニング環境等整備経費に対する補助金		
		位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	愛知県介護施設等整備事業費補助金交付要綱						
		対象者	介護サービス事業者		事業期間		令和2年度～		
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画V	4年度実績	・感染管理認定看護師派遣 10件		・濃厚接触者等介護サービス 提供継続支援金 補助件数 24件 補助金額 9,348千円		・介護サービス利用継続PCR等検査費補助金 補助件数 2件 補助金額 16千円		
			5年度実績	・感染管理認定看護師派遣 0件		・簡易陰圧装置の設置経費に 対する補助 補助件数 2件 補助金額 6,160千円		・ゾーニング環境等整備経費 に対する補助 補助件数 2件 補助金額 6,160千円	
6年度実績				・感染管理認定看護師派遣 0件		・簡易陰圧装置の設置経費に 対する補助 補助件数 1件 補助金額 2,918千円		・ゾーニング環境等整備経費 に対する補助 補助件数 1件 補助金額 2,420千円	
				7年度計画	・感染管理認定看護師派遣				
成果		感染管理認定看護師の派遣までは至らなかったものの、感染管理認定看護師による感染症発生事業所との電話相談を実施し、早期に感染症拡大防止対策を講じることができた。また、簡易陰圧装置の設置経費及びゾーニング環境等整備経費に対する補助金の交付により、施設内での感染症の感染拡大リスクを低減することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
		活動指標	簡易陰圧装置設置費補助件数（件）	—	2	1	—	—	
		活動指標	ゾーニング環境等整備費補助件数（件）	—	2	1	—	—	
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
	事業費 ①		9,414	12,320	5,338	50	合計 5,338,000 円		
	財源	特定財源	8,864	12,320	5,338	0	負担金、補助及び交付金 5,338,000 円		
		一般財源	550	0	0	50			
	職員人件費 ②		75	77	478	486			
	総事業費（①＋②）		9,489	12,397	5,816	536			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称			
		6年度までの累積事業費		0		介護施設等整備事業費補助金（県）			
		8年度以降の事業費見込		0					

会計名			高年齢者施設等感染症対策支援事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	介護保険企画係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	感染症における介護サービス事業所への支援であり、社会的需要は非常に高い。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		普通	簡易陰圧装置の設置及びゾーニング環境等の整備に対する補助金の交付については県の補助制度に基づくものである。また、感染管理認定看護師の派遣については、専門家による現場での直接指導や電話等による相談対応であり、感染拡大防止に直結する内容であるため、必要性は高い。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		高い	感染症における介護サービスの提供継続を支援し、サービス利用者へのサービス提供の安定化を図るために必要な事業であることから、市が主体となって実施すべきものである。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		普通	介護サービスの提供継続を支援することで、利用者へのサービス供給の安定化を図ることができる。
	今後の方向性		□ 拡充 ■ 現状維持 □ 改善・効率化 ■ 縮小 □ 終期設定 ■ 休止・廃止		
	感染症の発生状況及び県における補助制度の動向を踏まえ検討する。				

会計名			ちょこっとささえあいセンター整備事業				担当部		福祉健康部		
一般会計							担当課		長寿課		
款	項	目					担当係		介護予防推進係		
3	1	7									
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心								
		基本施策	高齢者福祉								
		施策の内容	高齢者への生活支援								
	目的	65歳以上の要支援・要介護認定者及び75歳以上の者が、在宅生活で抱えるちょっとした困りごとを解決するため、市民ボランティア活動センター内にちょこっとささえあいセンターを整備する。				主たる内容	刈谷市民ボランティアセンターの一部を整備し、ちょこっとささえあいセンターを設置する。				
		位置づけ									
		関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画								
		根拠法令	刈谷市ちょこっとささえあい事業実施要綱								
		対象者	施設利用者			事業期間	令和6年度～令和6年度				
		実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
	BDO 事業実績 計画V	4年度実績	5年度実績		6年度実績		7年度計画				
			整備工事								
成果		ちょこっとささえあいセンターが開設する6月までにセンターの整備を完了することができた。									
課題											
指標名称（単位）		実績値			目標値						
		4年度	5年度	6年度	7年度	9年度					
活動指標		センター整備進捗率（％）			—	100.0	—				
活動指標											
他市との比較検証	類似センター設置自治体 豊明市										
C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳				
	事業費 ①		0	0	370	0	合計	369,600 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	369,600 円			
		一般財源	0	0	370	0					
	職員人件費 ②		0	0	398	0					
	総事業費（①＋②）		0	0	768	0					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	6年度特定財源名称						
		6年度までの累積事業費		0							
		8年度以降の事業費見込		0							

会計名			ちょこっとささえあいセンター整備事業	担当部	福祉健康部	
一般会計				担当課	長寿課	
款	項	目		担当係	介護予防推進係	
3	1	7				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	令和4年度に行われた高齢者等実態調査報告書において、地域住民同士の助け合い、支え合いが「必要」と回答した者が56%、「できる」と回答した者が39%と市民ニーズがあるといえる。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	買い物や掃除といった軽度な生活支援の担い手のニーズを確保する有効な事業である。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	市民の生活に馴染むものとして公共が主体となって行うことは、市民が安心してサポートを利用できることに繋がる。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	市民の生活上のちょっとした困り事を解決するため、利用者と支援者のニーズをマッチングする要となる機関であるため。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	センターの整備事業は6月に完了し、今後はセンターの活動が市内全域に広がるよう周知するとともに活動の普及を図っていく。					

会計名			福祉有償運送運営協議会事業				担当部		福祉健康部		
一般会計							担当課		長寿課		
款	項	目					担当係		長寿生きがい係		
3	1	1									
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心								
		基本施策	高齢者福祉								
		施策の内容	高齢者への生活支援								
	目的	福祉有償運送の必要性、対価が適切なものであるか等について協議し、福祉有償運送の適切な運営を図る。				主たる内容	協議会を開催し、福祉有償運送の適切な運営を図る。				
		位置づけ									
		関連計画									
		根拠法令	刈谷市福祉有償運送運営協議会設置要綱								
	対象者	協議会委員				事業期間	平成17年度～				
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他									
	BDO 事業実績 計画V	4年度実績	協議会の開催 開催日 11月2日		5年度実績 協議会の開催 開催日 11月15日		6年度実績 協議会を1回以上開催 開催日 11月15日		7年度計画 協議会の開催		
成果			運営協議会でNPOによる自家用自動車を使用した有償運送についての協議を行い、適切な運営についての意見交換を行うことができた。								
課題											
指標名称（単位）				実績値			目標値				
活動指標		協議会開催数（回）			4年度	5年度	6年度	7年度	9年度		
指標											
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳			
		事業費 ①		51	58	58	121	合計	57,600 円		
		財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	57,600 円		
	一般財源		51	58	58	121					
	職員人件費 ②		1,732	1,611	1,433	0					
	総事業費（①＋②）		1,783	1,669	1,491	121					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称					
		6年度までの累積事業費		0							
		8年度以降の事業費見込		0							

会計名			介護保険会計繰出事業				担当部		福祉健康部	
一般会計							担当課		長寿課	
款	項	目					担当係		介護保険企画係	
3	1	3								

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	介護保険事業の円滑な運営を図る。				主たる内容	介護保険事業に係る介護給付費、地域支援事業費、総務費の市負担分を介護保険会計に繰り出す。		
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	介護保険法						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成12年度～		
	実施方法	☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☒ その他							

BDO 事業実績 計画 実施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画		
	介護給付費分：1,061,768,000円		介護給付費分：1,098,870,000円		介護給付費分：1,157,201,000円		介護給付費分：1,156,387,000円		
	地域支援事業費分：180,172,000円		地域支援事業費分：197,878,000円		地域支援事業費分：203,512,000円		地域支援事業費分：236,187,000円		
	低所得者保険料軽減分：77,763,000円		低所得者保険料軽減分：82,090,000円		低所得者保険料軽減分：113,112,000円		低所得者保険料軽減分：71,715,000円		
	総務費分：270,695,000円		総務費分：286,179,000円		総務費分：294,120,000円		総務費分：313,274,000円		
	計1,590,398,000円		計1,665,017,000円		計1,767,945,000円		計1,777,563,000円		
	成果	介護保険法に規定されている介護給付費等の市負担分を一般会計から介護保険会計に繰り出すことで、介護保険会計の健全な運営を行うことができた。							
	課題								
	指標名称（単位）				実績値			目標値	
					4年度	5年度	6年度	7年度	9年度
活動指標	繰出額（千円）			1,590,398	1,665,017	1,767,945	1,777,563	—	
指標									
他市との比較検証									

C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳	
	事業費①		1,590,398	1,665,017	1,767,945	1,777,563	合計	1,767,945,000円
	財源	特定財源	57,063	59,108	84,834	53,786	繰出金	1,767,945,000円
		一般財源	1,533,335	1,605,909	1,683,111	1,723,777		
	職員人件費②		75	77	239	243		
	総事業費（①＋②）		1,590,473	1,665,094	1,768,184	1,777,806		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称		
		6年度までの累積事業費		0		低所得者保険料軽減負担金（国・県）		
		8年度以降の事業費見込		0				

会計名			老人いこいの場整備運営事業				担当部		福祉健康部		
一般会計							担当課		長寿課		
款	項	目					担当係		長寿生きがい係		
3	1	3									
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心								
		基本施策	高齢者福祉								
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり								
	目的	地域の高齢者の交流の場である老人いこいの場を設置・運営することにより、高齢者の生きがいと健康づくりを支援する。				主たる内容	老人いこいの場の運営を各管理者に委託する。				
		位置づけ									
		関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画								
		根拠法令	刈谷市老人いこいの場設置運営要綱								
	対象者	60歳以上の高齢者				事業期間	昭和48年度～				
	実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他									
	BDO 事業実績 計画 実施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画			
・いこいの場開設(33か所)		・いこいの場開設(32か所)		・いこいの場開設(32か所)		・いこいの場開設(30か所)					
成果		老人いこいの場を開設することにより、地域の高齢者の交流の場を提供し、相互の親睦を図るとともに、生きがいと健康づくりの推進を図ることができた。									
課題											
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度			
活動指標		いこいの場開設日数（日）				4,334	4,470	4,520	4,550	—	
活動指標		いこいの場利用者数（人）				42,050	44,899	48,194	48,200	—	
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳			
	事業費①		3,095	3,080	3,041	3,168	合計	3,040,576円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	3,040,576円			
		一般財源	3,095	3,080	3,041	3,168					
	職員人件費②		979	1,381	1,832	0					
	総事業費（①＋②）		4,074	4,461	4,873	3,168					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	6年度特定財源名称						
		6年度までの累積事業費		0							
		8年度以降の事業費見込		0							

会計名			高齢者スポーツ等奨励事業				担当部		福祉健康部	
一般会計							担当課		長寿課	
款	項	目					担当係		長寿生きがい係	
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり							
	目的	高齢者スポーツ大会の出場選手を激励するとともに、高齢者スポーツの振興を図る。				主たる内容	県代表として、全国福祉祭等の高齢者スポーツ大会の全国大会に出場する選手に対し、激励金を交付する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令								
		対象者	※主たる内容に記載				事業期間	～		
	実施方法	☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他								
BDO 事業実績 計画V	4年度実績	5年度実績		6年度実績		7年度計画				
		神奈川大会：10人		愛媛大会：7人		鳥取大会：10人 全日本O-70サッカー大会：1人		岐阜大会		
	成果									
	課題									
	指標名称（単位）				実績値			目標値		
					4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
	成果指標	高齢者スポーツ大会出場者数（人）			10	7	11	—	—	
	指標									
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳			
	事業費 ①		100	70	110	120	合計	110,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	110,000 円		
		一般財源	100	70	110	120				
	職員人件費 ②		979	614	637	0				
	総事業費（①＋②）		1,079	684	747	120				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	6年度特定財源名称					
		6年度までの累積事業費		0						
		8年度以降の事業費見込		0						

会計名			敬老金等支給事業				担当部		福祉健康部	
一般会計							担当課		長寿課	
款	項	目					担当係		長寿生きがい係	
3	1	3								

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり						
	目的	多年に渡り社会の発展に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに、各地区等への健康・長寿に対する啓発を行う。				主たる内容	○各地区等で行われる敬老会事業に対する補助 ○対象者に対する敬老金の贈呈		
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市補助金交付規則、刈谷市敬老金支給要綱、刈谷市敬老会事業補助金交付要綱						
		対象者	※「B 事業実績」欄に記載			事業期間	～		
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他							

BDO 事業実績 計画 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画		
	・敬老金 満87歳、満89歳、満98歳（10,000円） 満99歳（30,000円） 満100歳以上（20,000円）		・敬老金 満87歳、満89歳、満98歳（10,000円） 満99歳（30,000円） 満100歳以上（20,000円）		・敬老金 満87歳、満89歳、満98歳（10,000円） 満99歳（30,000円） 満100歳以上（20,000円）		・敬老金 満87歳、満89歳、満98歳（10,000円） 満99歳（30,000円） 満100歳以上（20,000円）		
	成果	多年に渡り社会の発展に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに、各地区等への健康・長寿に対する啓発を行うことができた。							
	課題								
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					4年度	5年度	6年度	7年度	9年度
	活動指標	敬老金対象者（人）			1,302	1,295	1,366	—	—
	指標								
	他市との比較検証								

C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳	
	事業費 ①		27,489	27,852	28,941	30,823	合計	28,940,576 円
	財源	特定財源	3	2	2	2	報償費	15,140,000 円
		一般財源	27,486	27,850	28,939	30,821	需用費	202,176 円
	職員人件費 ②		1,581	1,995	2,469	2,511	役務費	372,000 円
	総事業費（①＋②）		29,070	29,847	31,410	33,334	負担金、補助及び交付金	13,226,400 円
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称		
		6年度までの累積事業費		0		市町村権限移譲交付金（県）		
		8年度以降の事業費見込		0				

会計名			地域介護等推進事業				担当部		福祉健康部	
一般会計							担当課		長寿課	
款	項	目					担当係		介護予防推進係	
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり							
	目的	家庭介護や介護予防についての正しい知識や技術を学ぶ機会を提供し、高齢者が安心して暮らすことができる家庭、地域づくりを推進する。					主たる内容	○家庭介護教室の開催		
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令								
		対象者	市民				事業期間	平成19年度～		
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
BDO 事業実績 計画 実施 V	4年度実績		5年度実績			6年度実績			7年度計画	
	・家庭介護教室の開催 年3回、延べ4日間		・家庭介護教室の開催 年3回、延べ4日間			・家庭介護教室の開催 年3回、延べ4日間			・家庭介護教室の開催 年3回	
	・認知症サポーター養成講座 団体 12回 361人 個人 3回 56人		・認知症サポーター養成講座 団体 19回 1,003人 個人 3回 52人			※認知症サポーター養成講座 認知症サポーターステップアップ講座、窓口及び施設におけるパンフレット等の配布については、介護保険特別会計認知症サポーター等養成事業にて継続。				
	・認知症サポーターステップアップ講座 1回 38人		・認知症サポーターステップアップ講座 1回 33人							
	・窓口及び施設におけるパンフレット等の配布		・窓口及び施設におけるパンフレット等の配布							
	成果	専門家による講演、演習により、家庭介護に必要な基本的な知識、技術を身につける機会を提供できた。								
	課題	高齢者数や要介護認定者数は増加しており、介護状態となることを防ぐための講座も今後開催する必要がある。								
	指標名称（単位）			実績値			目標値			
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度		
	活動指標	認知症サポーター養成講座受講者累計数（人）		11,046	12,101					
活動指標	家庭介護教室参加者数（人）		106	110	87	80	80			
他市との比較検証	他市においても、愛知県市町村振興協会の同事業を活用して、同様の研修会を実施している。									
C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳			
	事業費 ①		465	389	65	22	合計	64,550 円		
	財源	特定財源	0	0	65	22	使用料及び賃借料	64,550 円		
		一般財源	465	389	0	0				
	職員人件費 ②		2,485	2,532	327	332				
	総事業費（①＋②）		2,950	2,921	392	354				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称				
		6年度までの累積事業費		0		地域福祉基金積立金利子				
8年度以降の事業費見込		0								

会計名			介護職の魅力向上事業				担当部		福祉健康部		
一般会計							担当課		長寿課		
款	項	目					担当係		介護保険企画係		
3	1	3									
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心								
		基本施策	高齢者福祉								
		施策の内容	介護サービスの充実								
	目的	介護に関する理解を深めることで、介護職への関心を喚起し、介護人材の参入促進を図る。				主たる内容	刈谷わんさか祭り等のイベントに出展し、介護や介護の仕事の魅力に関する情報発信や周知活動を行う。				
		位置づけ									
		関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画								
		根拠法令	愛知県地域医療介護総合確保基金事業（介護従事者確保分）補助金交付要綱								
		対象者	対象者を限定せず				事業期間	令和3年度～			
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他									
	BDO 事業実績 計画V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画			
・イベント出展 刈谷わんさか祭り 福祉健康フェスティバル ・介護職啓発物品の配布		・イベント出展 刈谷わんさか祭り FC刈谷ホームタウンデー 福祉健康フェスティバル ・介護職啓発物品の配布		・イベント出展 刈谷わんさか祭り 福祉健康フェスティバル ・介護職啓発物品の配布		・イベント出展 刈谷わんさか祭り 福祉健康フェスティバル ・介護職啓発物品の配布					
成果		介護現場で実施しているレクリエーションを紹介するとともに、介護現場に従事している介護職員と協働して福祉用具の展示及び電動車いす等の試乗体験を行ったことにより、介護職の魅力に関する情報発信及び啓発活動を効果的に行うことができ、介護人材の参入促進及び将来における安定的な介護サービスの提供に向けた支援に繋げることができた。									
課題		最先端の福祉用具を展示することで、介護職及び介護業界に対するイメージアップを図り、更なる魅力発信を行う。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度			
活動指標		イベント出展回数（回）				2	3	2	2	—	
指標											
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳			
	事業費 ①		249	248	224	360	合計	223,806 円			
	財源	特定財源	186	186	167	269	需用費	79,706 円			
		一般財源	63	62	57	91	使用料及び賃借料 負担金、補助及び 交付金	82,500 円 61,600 円			
	職員人件費 ②		75	77	876	891					
	総事業費（①+②）		324	325	1,100	1,251					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称					
		6年度までの累積事業費		0		介護普及啓発事業費補助金（県）					
		8年度以降の事業費見込		0							

会計名			配食サービス事業				担当部		福祉健康部	
一般会計							担当課		長寿課	
款	項	目					担当係		高齢福祉係	
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者への生活支援							
	目的	見守りが必要で、食事の支度が困難な高齢者に対し、配食サービスを提供することにより、高齢者の食の自立を支援するとともに、その安否を確認し、もって福祉の増進を図る。				主たる内容	65歳以上の高齢者のみの世帯で、隣接地に扶養義務者が居住せず、配食サービスの提供が必要であると判断された人に対し、週3回以内の夕食を配達し安否確認を行う。 （カロリー・塩分制限等の必要の無い人を対象とした一般食） ○利用者負担 1食につき300円			
		位置づけ								
		関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	刈谷市高齢者配食サービス事業実施要綱							
		対象者	※主たる内容に記載				事業期間	平成8年度～		
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画		
・利用者数：495人 ・延べ利用食数：43,359食		・利用者数：540人 ・延べ利用食数：50,726食		・利用者数：578人 ・延べ利用食数：55,389食		・利用者数：600人 ・延べ利用食数：57,000食				
成果		見守りの必要な高齢者世帯に対し、配達にあわせて安否確認を行い、利用者の状況等を確認することができた。また、定期的に栄養バランスのとれた食事を提供することにより、健康で自立した生活を送ることができるよう支援した。								
課題		高齢化の進行に伴い、ひとり暮らしや高齢者のみ世帯の増加が見込まれ、事業費も年々増加しているため、事業の総合的な見直しが必要である。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度		
活動指標		配食サービス利用者数（人） （年度末時点の登録利用者数）				495	540	578	600	600
活動指標		延べ利用食数（食）				43,359	50,726	55,389	57,000	57,000
他市との比較検証		県内複数の市で同様の事業を実施している。 配食サービスの実施回数は週2回から毎日実施、昼食のみや夕食のみと内容は様々である。また、1食あたりの市の補助額も半額程度補助している市や、配達費のみ補助している市がある。								
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
	事業費 ①		21,140	23,891	28,561	30,978	合計	28,561,142 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	28,561,142 円		
		一般財源	21,140	23,891	28,561	30,978				
	職員人件費 ②		1,732	2,379	2,628	2,268				
	総事業費（①＋②）		22,872	26,270	31,189	33,246				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称				
		6年度までの累積事業費		0						
8年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給事業				担当部		福祉健康部		
款 項 目							担当課		長寿課		
3 1 3							担当係		高齢福祉係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心								
		基本施策	高齢者福祉								
		施策の内容	高齢者への生活支援								
	目的	在宅のねたきり又は認知症の高齢者に見舞金を支給することにより、当該高齢者の属する世帯の身体的、精神的及び経済的負担を軽減し、福祉の増進を図る。				主たる内容	○65歳以上で在宅のねたきり又は認知症の人に対して、月額5,000円の見舞金を支給する。 ○見舞金は、年2回（9月、3月）に分けて支給する。				
		位置づけ									
		関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画								
		根拠法令	刈谷市在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給要綱								
		対象者	※主たる内容に記載				事業期間	昭和49年度～			
	実施方法		■直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画			
・受給者数 前期：878人 後期：835人		・受給者数 前期：936人 後期：886人		・受給者数 前期：899人 後期：981人		・受給者数 前期：960人 後期：960人					
成果		老人福祉の理念に基づき、ねたきり高齢者等の属する世帯の身体的、精神的及び経済的負担を軽減し、福祉の増進を図ることができた。									
課題		高齢者数の増加に伴い、見舞金受給対象者の増加が見込まれるため、在宅ねたきり・認知症高齢者にならないための介護予防策を推進することが必要である。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度			
活動指標		在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金前期受給者数（人）			878	936	899	960	960		
活動指標		在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金後期受給者数（人）			835	886	981	960	960		
他市との比較検証		県内の約半数の市町村で同様の事業を実施している。 ねたきり・認知症の日常生活自立度等で判定するほか、要介護度や世帯の所得制限（市民税等非課税）の条件を設けている市町村もある。									
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳			
	事業費 ①		43,473	45,000	47,411	46,720	合計	47,411,370 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	73,370 円			
		一般財源	43,473	45,000	47,411	46,720	役務費	348,000 円			
	職員人件費 ②		979	2,148	2,230	2,268	扶助費	46,990,000 円			
	総事業費（①＋②）		44,452	47,148	49,641	48,988					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称					
		6年度までの累積事業費		0							
8年度以降の事業費見込		0									

会計名 一般会計			在宅ねたきり・認知症高齢者おむつ助成事業				担当部 福祉健康部			
款 項 目							担当課 長寿課			
3 1 3							担当係 高齢福祉係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者への生活支援							
	目的	在宅のねたきり又は認知症の高齢者に対し、おむつ等の購入に要する費用の一部を助成することにより、介護者の経済的負担を軽減させ、福祉の増進を図る。				主たる内容	在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金受給者でおむつを利用している人に対し、1月当たり3,000円相当（要介護4又は5で、市民税非課税世帯の人は、1月あたり6,000円相当）のおむつ費用助成利用券を交付する。			
		位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	刈谷市在宅ねたきり・認知症高齢者おむつ費用助成事業実施要綱							
		対象者	在宅ねたきり認知症高齢者見舞金受給者		事業期間		平成8年度～			
	実施方法		■直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画		
		・利用券交付者数 前期：746人 後期：739人		・利用券交付者数 前期：779人 後期：778人		・利用券交付者数 前期：820人 後期：787人		・利用券交付者数 前期：840人 後期：810人		
成果		おむつ等の購入に要する費用の一部を助成することにより、介護者の経済的負担を軽減させ、福祉の向上を図ることができた。								
課題		高齢化の進行に伴い、在宅で介護を受けるねたきり・認知症高齢者の増加が見込まれるため、今後より一層の周知に努め、在宅介護者の負担軽減につながるようにする必要がある。 また、重症化を防ぐための介護予防や自立支援の体制整備を併せて推進することも必要である。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度		
活動指標		在宅ねたきり・認知症高齢者おむつ費用助成利用券前期交付者数（人）			746	779	820	840	840	
活動指標		在宅ねたきり・認知症高齢者おむつ費用助成利用券後期交付者数（人）			739	778	787	810	810	
他市との比較検証		県内のほとんどの市で同様の事業を実施している。 おむつを現物支給する市もあるが、大半は利用券を交付しており、金額は一月あたり2,500円～7,000円と幅がある。また、要介護認定だけでなく、所得制限（市民税等非課税）の条件を設けている市も多い。								
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
	事業費 ①		20,218	22,080	22,640	27,919	合計	22,640,333 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	36,000 円		
		一般財源	20,218	22,080	22,640	27,919	需用費	351,978 円		
	職員人件費 ②		1,732	1,765	2,628	2,268	役務費	833,000 円		
	総事業費（①＋②）		21,950	23,845	25,268	30,187	扶助費	21,419,355 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称				
		6年度までの累積事業費		0						
8年度以降の事業費見込		0								

会計名			生きがい活動支援通所事業				担当部		福祉健康部		
一般会計							担当課		長寿課		
款	項	目					担当係		長寿生きがい係		
3	1	3									
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心								
		基本施策	高齢者福祉								
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいくづくり								
	目的	在宅の高齢者に対し、通所による各種サービスを提供することにより、社会的孤立感の解消、自立的生活の助長、心身機能の維持向上を図る。				主たる内容	65歳以上で、介護保険の要支援又は要介護認定を受けていない人及び事業対象者でない人で、家に閉じこもりがちな高齢者に対し、高齢者福祉センター及び東刈谷市民センターにおいて、生活支援通所サービスを提供する。 ○あつまりん ボランティアを活用し、通所型の介護予防サービスを行う。				
		位置づけ									
		関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画								
		根拠法令	刈谷市生きがい活動支援通所事業実施要領								
	対象者	※主たる内容に記載				事業期間	平成9年度～				
	実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他									
	BDO 事業実績 計画V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画			
実績延日数：160日 利用延人数：1,048人		実績延日数：140日 利用延人数：929人		実績延日数：153日 利用延人数：1,138人		高齢者福祉センター：月・水・金曜日開催 東刈谷市民センター：火曜日開催					
成果		通所による各種のサービスを提供することにより、社会的孤立感の解消、自立的生活の助長、心身機能の維持向上等を図ることができた。									
課題		身近な地域で高齢者の参加できる活動が拡充してきており、本事業のあり方についての検討が必要である。									
指標名称（単位）				実績値		目標値					
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度			
活動指標		生きがい活動支援通所事業実施延日数（日）			160	140	153	152	—		
活動指標		生きがい活動支援通所事業利用延人数（人）			1,048	929	1,138	1,150	—		
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳			
	事業費①		5,057	5,252	6,106	6,802	合計	6,105,636円			
	財源	特定財源	524	473	1,723	1,724	委託料	6,105,636円			
		一般財源	4,533	4,779	4,383	5,078					
	職員人件費②		1,732	1,304	1,035	0					
	総事業費（①+②）		6,789	6,556	7,141	6,802					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称					
		6年度までの累積事業費		0		在宅福祉事業一部負担金 地域福祉基金積立金利子					
		8年度以降の事業費見込		0							

会計名			老人ホーム入所者生活補給金支給事業				担当部		福祉健康部						
一般会計							担当課		長寿課						
款	項	目					担当係		高齢福祉係						
3	1	3													
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心												
		基本施策	高齢者福祉												
		施策の内容	高齢者への生活支援												
	目的	養護老人ホームに入所している高齢者に生活補給金を支給することにより、老人福祉の理念に基づいて、高齢者の福祉の増進を図る。				主たる内容	○刈谷市が措置し、前月收入額が7,500円未満の入所者に対し、1人につき、生活補給金として最大月額7,500円を支給する。 ○養護老人ホーム入所者の病院の受診費用や日用生活品の購入などに充てる。								
		位置づけ													
		関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画												
		根拠法令	老人福祉法、刈谷市老人ホーム入所者生活補給金支給事業実施要綱												
	対象者	※主たる内容に記載				事業期間	平成18年度～								
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他													
	BDO 事業実績 計画V	4年度実績	受給者数：6人		5年度実績		受給者数：6人		6年度実績		受給者数：4人		7年度計画		事業の性質上、計画・目標値は未設定。
成果		生活補給金を支給し、対象者の病院の受診費用や日用生活品の購入に充てることにより、対象者が安定した生活を送ることができた。													
課題		入居者より増額要求が度々あるが、増額根拠が無いため、補給金の性質を説明して現状を維持している。													
指標名称（単位）						実績値			目標値						
						4年度	5年度	6年度	7年度	9年度					
活動指標		老人ホーム入所者生活補給金受給者数（人）					6	6	4	—	—				
指標															
他市との比較検証		養護老人ホームを持つ近隣4市（碧南、高浜、安城、知立）は補給金を7,500円／月としている。													
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）		5年度（決算）		6年度（決算）		7年度（予算）		6年度事業費内訳			
	事業費 ①		518		443		368		630		合計		367,500 円		
	財源	特定財源	0		0		0		0		扶助費		367,500 円		
		一般財源	518		443		368		630						
	職員人件費 ②		1,054		691		717		729						
	総事業費（①＋②）		1,572		1,134		1,085		1,359						
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称									
		6年度までの累積事業費		0											
		8年度以降の事業費見込		0											

会計名			在日外国人特別給付事業				担当部		福祉健康部						
一般会計							担当課		長寿課						
款	項	目					担当係		長寿生きがい係						
3	1	3													
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心												
		基本施策	高齢者福祉												
		施策の内容	高齢者への生活支援												
	目的	年金の受給資格の取れなかった外国人無年金者で一定の要件を満たす人に対し、特別給付金を支給し福祉の増進を図る。				主たる内容	大正15年4月1日以前に出生した外国人で、老齢福祉年金の所得基準を満たす人に対し、一月あたり1万円を支給する。								
	位置づけ	関連計画													
		根拠法令	刈谷市在日外国人特別給付金支給要綱												
		対象者	※主たる内容に記載				事業期間	平成6年度～							
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他													
BDO 事業実績 計画V	4年度実績	受給者数：2人		5年度実績		受給者数：1人		6年度実績		受給者数：1人		7年度計画		事業の性質上、計画・目標値は未設定。	
	成果	市民だより等で事業の周知を行った。													
	課題	対象者を適切に把握する必要がある。													
	指標名称（単位）				実績値				目標値						
					4年度		5年度		6年度		7年度		9年度		
	活動指標	在日外国人特別給付金受給者数（人）			2		1		1		—		—		
	指標														
他市との比較検証															
C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）		5年度（決算）		6年度（決算）		7年度（予算）		6年度事業費内訳				
	事業費 ①		150		120		120		240		合計		120,000 円		
											扶助費		120,000 円		
	財源	特定財源	0		0		0		0						
		一般財源	150		120		120		240						
	職員人件費 ②		301		537		637		0						
	総事業費（①＋②）		451		657		757		240						
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称									
		6年度までの累積事業費		0											
8年度以降の事業費見込		0													

会計名			高齢者緊急一時保護居室確保事業				担当部		福祉健康部	
一般会計							担当課		長寿課	
款	項	目					担当係		高齢福祉係	
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者への生活支援							
	目的	特別養護老人ホームのショートステイ用のベッドをあらかじめ確保することで、高齢者虐待等における被虐待者の緊急一時保護に対応する。				主たる内容	特別養護老人ホームのショートステイ用のベッド2床を365日確保する。			
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援に関する法律 老人福祉法							
	対象者						事業期間	平成30年度～		
実施方法		☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☒ その他								
BDO 事業実績 計画 実施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画			
	・特別養護老人ホームショートステイ用のベッド2床を年間を通して確保し、虐待等における高齢者の一時保護を行う。 緊急一時保護件数 2件		・特別養護老人ホームショートステイ用のベッド2床を年間を通して確保し、虐待等における高齢者の一時保護を行う。 緊急一時保護件数 3件		・特別養護老人ホームショートステイ用のベッド2床を年間を通して確保し、虐待等における高齢者の一時保護を行う。 緊急一時保護件数 5件		・特別養護老人ホームショートステイ用のベッド2床を年間を通して確保し、虐待等における高齢者の一時保護を行う。			
	成果	虐待等高齢者の緊急一時保護に迅速に対応できた。								
	課題	虐待等で一時保護された高齢者の身を守るため、施設と面会制限等の適切な対応について検討する必要がある。								
	指標名称（単位）				実績値			目標値		
					4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
	活動指標	緊急一時保護居室確保数（床）				2	2	2	2	2
	活動指標									
	他市との比較検証									
	C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
事業費 ①		4,687	4,284	4,777	4,705	合計 4,776,840 円				
財源		特定財源	0	0	0	0	委託料 4,776,840 円			
		一般財源	4,687	4,284	4,777	4,705				
職員人件費 ②		828	691	717	729					
総事業費（①+②）		5,515	4,975	5,494	5,434					
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称				
		6年度までの累積事業費		0						
		8年度以降の事業費見込		0						

会計名			はいかい高齢者個人賠償責任保険事業				担当部		福祉健康部	
一般会計							担当課		長寿課	
款	項	目					担当係		高齢福祉係	
3	1	3								

P
L
A
N
計
画
要
素

事業概要

位置 づけ	総合計画 施策体系	分野	福祉安心				
		基本施策	高齢者福祉				
		施策の内容	介護サービスの充実				
	目的	認知症等によるはいかいにより、鉄道事故等を起こす可能性のある高齢者を対象に、市がはいかい高齢者個人賠償責任保険に加入することにより、本人及び家族の損害賠償の負担軽減を図る。			主たる 内容	行方不明高齢者等SOSネットワークに登録した人のうち、保険加入希望者を対象に、市が一括して保険加入する。	
	関連計画						
	根拠法令	刈谷市行方不明高齢者等SOSネットワーク事業実施要綱					
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	令和元年度～	
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他					

B
D
O
A
実
施
要
素

事業実績

4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画		
はいかい高齢者個人賠償責任保険加入者数 111人		はいかい高齢者個人賠償責任保険加入者数 118人		はいかい高齢者個人賠償責任保険加入者数 152人		はいかい高齢者個人賠償責任保険加入者数 170人		
成果	認知症等によるはいかいにより鉄道事故等を起こす恐れのある高齢者を対象に、市でははいかい高齢者個人賠償責任保険に一括で加入することにより、本人及びその家族の損害賠償負担軽減を図ることができた。							
課題	日常的にははいかいの恐れのある高齢者に対し、行方不明高齢者等SOSネットワークを含めさらなる加入促進を行う必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値		
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度
活動指標	はいかい高齢者個人賠償責任保険加入者数（人）			111	118	152	170	180
活動指標								
他市との比較検証	近隣市町では安城市、高浜市、知立市、碧南市で実施している。近隣市町も刈谷市と同様にSOSネットワーク事前登録者で保険加入を希望する方を対象としている。							

C
事
業
コ
ス
ト

事業コスト

単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳	
事業費 ①		298	340	312	502	合計	311,610 円
財源	特定財源	0	0	0	0	役務費	311,610 円
	一般財源	298	340	312	502		
職員人件費 ②		602	537	557	567		
総事業費（①＋②）		900	877	869	1,069		
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	6年度特定財源名称			
	6年度までの累積事業費		0				
	8年度以降の事業費見込		0				

会計名			老人ホーム措置事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	高齢福祉係		
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者への生活支援							
	目的	原則として65歳以上で、環境上の理由及び経済的理由により、居宅で生活することが困難な人が、自立した日常生活を営むために適切な支援が総合的に受けられるよう、養護老人ホーム等への入所措置、介護保険サービスの便宜を供与する措置等の積極的な実施に努める。				主たる内容	養護老人ホーム及び特別養護老人ホーム等（やむを得ない措置）被措置者の入所施設等に対し、措置に係る費用を支給する。			
		※やむを得ない措置とは、事業者と契約をして介護サービスを利用することや、その前提となる市町村に対する要介護認定の申請を期待しがたい場合、又は高齢者虐待等により保護及び支援が必要と認められる場合をいう。								
		位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
			根拠法令	老人福祉法、刈谷市老人福祉法施行細則、老人福祉法第28条の規定による費用徴収規則						
		対象者	※主たる内容に記載			事業期間	～			
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	4年度実績	養護老人ホーム被措置者数 刈谷市：16人 他市：6人 (年度末時点)		5年度実績		6年度実績		7年度計画	
			養護老人ホーム被措置者数 刈谷市：20人 他市：7人 (年度末時点)		養護老人ホーム被措置者数 刈谷市：21人 他市：7人 (年度末時点)		老人福祉法上の措置であるため、計画・目標値は未設定。			
成果			居宅での生活が困難であった高齢者を養護老人ホームに入所させることで、高齢者が心身ともに健全な生活を送ることができた。							
			課題	定員50名に対し、6割程度の入居率となっている。						
指標名称（単位）				実績値			目標値			
活動指標		養護老人ホーム被措置者数（人）			4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
指標										
他市との比較検証		養護老人ホームを民間委託した事で、入居率が上がっている市（碧南市、高浜市、豊田市他）がある。								
		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
C 事業コスト		事業費 ①		61,065	68,869	72,861	86,537	合計	72,860,512 円	
	財源	特定財源	44,670	53,416	57,025	65,818	報償費	70,000 円		
		一般財源	16,395	15,453	15,836	20,719	扶助費	72,790,512 円		
	職員人件費 ②		3,087	2,148	2,230	2,268				
	総事業費（①＋②）		64,152	71,017	75,091	88,805				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称				
		6年度までの累積事業費		0		老人ホーム被措置者負担金 老人ホーム入所者措置収入				
8年度以降の事業費見込		0								

会計名			介護サービス利用者負担等軽減事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	介護認定給付係	
3	1	3							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	低所得の高齢者であっても必要な介護サービスが利用できるように支援する。				主たる内容	①介護保険居宅サービス等利用者負担額助成 市民税非課税世帯の人で、前年収入や預貯金等が一定額以下などの要件を満たす人へ、居宅サービス等の介護サービス費の利用者負担額の1/2を助成する。 ②社会福祉法人等による生活困難者等に対する利用者負担軽減制度事業費補助 対象サービスの介護サービス費、食費、居住費等を軽減した社会福祉法人等へ、軽減額から本来受領すべき利用者負担額の1%を控除した額の1/2を補助する。		
		位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画					
			根拠法令	刈谷市介護保険居宅サービス等利用者負担額助成事業実施要綱 他					
		対象者	※主たる内容に記載				事業期間	平成12年度～	
		実施方法	☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他						
	BDO 事業実績 計画V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画	
		①助成人数 9人 助成額 381,851円 ②補助法人数 3法人 補助額 645,000円		①助成人数 12人 助成額 357,884円 ②補助法人数 2法人 補助額 547,000円		①助成人数 11人 助成額 371,043円 ②補助法人数 2法人 補助額 805,000円		①助成人数 17人 助成額 890,000円 ②補助法人数 3法人 補助額 967,000円	
成果		生活の維持が困難な低所得の高齢者であっても、必要な介護保険サービスを利用することができた。							
課題		市民及び法人へ制度の周知を図ること。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
活動指標		①介護保険居宅サービス等利用者負担額助成人数（人）			9	12	11	17	17
活動指標		②社会福祉法人等による生活困難者等に対する利用者負担軽減制度事業費補助額（円）			645,000	547,000	805,000	967,000	967,000
他市との比較検証		①介護保険居宅サービス等利用者負担額助成は、対象条件や助成割合が異なるが、県内では18保険者が実施している。 ②社会福祉法人等による生活困難者等に対する利用者負担軽減制度事業費補助は、概ね全国の保険者が実施している。							
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳	
	事業費 ①		1,027	905	1,176	1,885	合計 1,176,043 円		
	財源	特定財源	483	410	603	743	負担金、補助及び 交付金 805,000 円 扶助費 371,043 円		
		一般財源	544	495	573	1,142			
	職員人件費 ②		226	230	239	243			
	総事業費（①＋②）		1,253	1,135	1,415	2,128			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称			
		6年度までの累積事業費		0		福祉法人等サービス利用軽減 事業費補助金（県）			
8年度以降の事業費見込		0							

会計名			ケアプラン指導研修事業				担当部		福祉健康部		
一般会計							担当課		長寿課		
款	項	目					担当係		介護認定給付係		
3	1	3									
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心								
		基本施策	高齢者福祉								
		施策の内容	介護サービスの充実								
	目的	介護支援専門員（ケアマネジャー）のスキルアップを図り、高齢者が適切なケアプランのもとで介護保険サービスを利用できるようにする。				主たる内容	介護支援専門員を対象に、ケアマネジメントリーダー等によるケアプランの事例調査・指導・作成技術向上のための研修を行う。				
		位置づけ									
		関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画								
		根拠法令	介護保険法								
	対象者	市内介護支援専門員				事業期間	平成18年度～				
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他									
	BDO 事業実績 計画 実施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画			
ケアプラン指導研修会 2回		ケアプラン指導研修会 2回		ケアプラン指導研修会 1回		ケアプラン指導研修会（オンライン） 1回					
成果		介護支援専門員のケアプラン作成技術の向上が図られたことで、適切なケアプランに基づく高齢者のサービス利用に繋がった。									
課題		介護支援専門員のニーズと課題を把握し、参加意欲を高める研修プログラムの作成や周知方法の工夫が必要である。また、業務都合で参加できない人が多くいるため、動画配信型の研修に切り替える必要がある。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度			
活動指標		開催数（回）		2		2	1	1	1		
成果指標		延参加人数（人）		61		67	46	70	70		
他市との比較検証		刈谷市独自の事業である。									
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳			
	事業費 ①		6	15	0	29	合計 0 円				
	財源	特定財源	0	0	0	0					
		一般財源	6	15	0	29					
	職員人件費 ②		75	77	80	81					
	総事業費（①＋②）		81	92	80	110					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	6年度特定財源名称						
		6年度までの累積事業費		0							
		8年度以降の事業費見込		0							

会計名			介護施設等整備費補助事業				担当部	福祉健康部					
一般会計							担当課	長寿課					
款	項	目					担当係	介護保険企画係					
3	1	3											
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心										
		基本施策	高齢者福祉										
		施策の内容	介護サービスの充実										
	目的	介護保険事業計画の整備目標に基づき、安定した質の高い介護サービスの提供体制を整備するため、民間事業者が整備する介護施設等の施設整備費及び開設準備経費に対して補助を行う。				主たる内容	施設整備費及び開設準備経費に対して、補助金を交付する。						
		位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画									
			根拠法令	愛知県介護施設等整備事業費補助金交付要綱									
		対象者	介護サービス事業者		事業期間		令和4年度～						
		実施方法	☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他										
	BDO 事業実績 計画V	4年度実績	認知症グループホーム 1件		5年度実績		6年度実績		7年度計画				
			補助金額 ・施設整備 33,600千円 ・開設準備 15,102千円		認知症グループホーム 1件 補助金額 ・非常用自家発電設備の整備 7,481千円		認知症グループホーム 0件 看護小規模多機能型居宅介護事業所 0件		認知症グループホーム 3件 補助金額 ・施設整備 118,800千円 ・開設準備 53,406千円 看護小規模多機能型居宅介護事業所 1件 補助金額 ・施設整備 39,600千円 ・開設準備 8,901千円				
成果		認知症グループホーム及び看護小規模多機能型居宅介護事業所の公募に向け、愛知県内で実績のある法人等に声掛けするなど、積極的に周知活動を行い、申込までは至らなかったものの複数件の相談を受け付けた。また、令和7年度の公募に向けて、法人の準備期間確保を目的に要綱や必要書類、募集期間の予定等を先行してホームページで公表した。											
課題		第9期介護保険事業計画の整備目標に基づき、認知症グループホーム及び看護小規模多機能型居宅介護事業所の公募を実施し、事前申込は受け付けたものの、整備することはできなかった。第9期介護保険事業計画における整備目標の達成に向け、より一層の周知を行っていく。											
指標名称（単位）		実績値				目標値							
		4年度				5年度		6年度		7年度		9年度	
		成果指標	認知症グループホーム施設整備数（箇所）		1	0	0	3	—				
成果指標		看護小規模多機能型居宅介護事業所施設整備数（箇所）		0	0	0	1						
他市との比較検証													
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳					
	事業費 ①		48,702	7,481	0	220,707	合計 0 円						
	財源	特定財源	48,702	7,481	0	220,707							
		一般財源	0	0	0	0							
	職員人件費 ②		75	77	80	891							
	総事業費（①＋②）		48,777	7,558	80	221,598							
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称							
		6年度までの累積事業費		0									
8年度以降の事業費見込		0											

会計名			養護老人ホーム管理運営事業				担当部		福祉健康部		
一般会計							担当課		長寿課		
款	項	目					担当係		長寿生きがい係		
3	1	6									
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心								
		基本施策	高齢者福祉								
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり								
	目的	老人福祉法に基づく、主に経済的な理由で居宅において生活することが困難な65歳以上の高齢者が入所するための施設で、入所者が自立した日常生活を営み、社会的活動に参加するために必要な指導や訓練を行うことを目的とする。				主たる内容	施設の管理運営を指定管理者である刈谷市社会福祉協議会に委託する。				
		位置づけ									
		関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画								
		根拠法令	老人福祉法、刈谷市ふれあいの里条例								
	対象者	※目的に記載				事業期間	～				
	実施方法	■直営 □委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他									
	BDO 事業実績 計画V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画			
・養護老人ホーム管理運営委託		・養護老人ホーム管理運営委託		・養護老人ホーム管理運営委託		・養護老人ホーム管理運営委託					
成果		入所者の生活援助や社会参加の促進及び生活環境の整備を図ることができた。									
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度			
活動指標		刈谷市養護老人ホーム入所者数（人）			23	22	23	—	—		
指標											
他市との比較検証		老人福祉法に基づいた行政の措置施設であるため、他市でも同様の事業を実施している。									
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳			
	事業費 ①		92,036	96,209	99,161	108,698	合計	99,161,430 円			
	財源	特定財源	4,478	5,956	6,514	7,937	需用費	137,500 円			
		一般財源	87,558	90,253	92,647	100,761	委託料	98,657,000 円			
	職員人件費 ②		527	384	637	0	備品購入費	366,930 円			
	総事業費（①＋②）		92,563	96,593	99,798	108,698					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称					
		6年度までの累積事業費		0		老人ホーム被措置者負担金					
8年度以降の事業費見込		0		在宅老人短期保護手数料 老人ホーム入所者措置収入							

会計名			ぬくもりプラザ管理運営事業				担当部		福祉健康部	
一般会計							担当課		長寿課	
款	項	目					担当係		長寿生きがい係	
3	1	7								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり							
	目的	高齢者福祉の拠点として、生きがいと健康づくり及び交流の場を提供し、高齢者福祉の向上を図る。				主たる内容	施設の管理運営を指定管理者である刈谷にぎわいオフィスに委託する。			
		位置づけ								
		関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	根拠法令	刈谷市南部福祉センター条例								
	対象者	60歳以上の高齢者			事業期間	平成13年度～				
	実施方法	☐ 直営 ☐ 委託 ☒ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画		
・浴室利用 ・マッサージ室利用 ・ふれあい交流室利用 ・講座の開催		・浴室利用 ・マッサージ室利用 ・ふれあい交流室利用 ・講座の開催		・浴室利用 ・マッサージ室利用 ・ふれあい交流室利用 ・講座の開催		・浴室利用 ・マッサージ室利用 ・ふれあい交流室利用 ・講座の開催				
成果		利用者の生きがいと健康づくりの推進及び施設的环境整備を図ることができた。								
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度		
活動指標		ぬくもりプラザ延べ利用者数（人）		34,554	32,611	30,829	31,000	—		
活動指標		うち浴室利用者数（人）		19,645	17,467	18,235	18,500	—		
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
	事業費 ①		17,639	18,180	20,099	24,313	合計	20,098,689 円		
	財源	特定財源	791	758	820	752	報償費	336,000 円		
		一般財源	16,848	17,422	19,279	23,561	需用費	4,135,055 円		
	職員人件費 ②		527	767	1,035	0	役務費	26,000 円		
	総事業費（①+②）		18,166	18,947	21,134	24,313	委託料	14,880,598 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	6年度特定財源名称		使用料及び賃借料	528,536 円		
		6年度までの累積事業費		0	行政財産目的外使用料		備品購入費	192,500 円		
		8年度以降の事業費見込		0						

会計名			生きがいセンター管理運営事業				担当部		福祉健康部	
一般会計							担当課		長寿課	
款	項	目					担当係		長寿生きがい係	
3	1	7								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり							
	目的	高齢者福祉の拠点として、生きがいと健康づくりの場を提供し、高齢者福祉の向上を図る。				主たる内容	施設の管理運営を指定管理者である公益社団法人刈谷市シルバー人材センターに委託する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	刈谷市高齢者生きがい施設条例、刈谷市高齢者生きがい施設条例施行規則							
		対象者	60歳以上の高齢者			事業期間	昭和62年度～			
	実施方法	■直営 □委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他								
BDO 事業実績 計画 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画			
	・高齢者市民講座の開催 ・講座室、多目的室等の利用		・高齢者市民講座の開催 ・講座室、多目的室等の利用		・高齢者市民講座の開催 ・講座室、多目的室等の利用		・高齢者市民講座の開催 ・講座室、多目的室等の利用			
	成果	利用者の生きがいと健康づくりの推進及び施設的环境整備を図ることができた。								
	課題	施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えつつある。								
	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
	活動指標	高齢者市民講座参加者延人数（人）		3,553	3,690	3,789	3,800	—		
	活動指標	生きがいセンター延べ利用者数（人）		13,561	16,173	16,732	16,800	—		
	他市との比較検証									
	C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
事業費 ①		19,980	21,383	21,139	22,498	合計	21,139,019 円			
財源		特定財源	0	0	0	10	需用費	499,400 円		
		一般財源	19,980	21,383	21,139	22,488	役務費	17,617 円		
職員人件費 ②		527	614	637	0	委託料	18,642,002 円			
総事業費（①＋②）		20,507	21,997	21,776	22,498	使用料及び賃借料	1,980,000 円			
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0	6年度特定財源名称					
		6年度までの累積事業費		0						
		8年度以降の事業費見込		0						

会計名			高齢者交流プラザ管理運営事業				担当部		福祉健康部	
一般会計							担当課		長寿課	
款	項	目					担当係		長寿生きがい係	
3	1	7								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり							
	目的	高齢者福祉の拠点として、生きがいと健康づくり及び交流の場を提供し、高齢者福祉の向上を図る。				主たる内容	施設の管理運営を指定管理者である刈谷市社会福祉協議会に委託する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	刈谷市ふれあいの里条例、刈谷市ふれあいの里条例施行規則							
		対象者	60歳以上の高齢者			事業期間	平成9年度～			
	実施方法	■直営 □委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他								
BDO 事業実績 計画V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画			
	・大浴室利用 ・講座の開催 ・行事の開催		・大浴室利用 ・講座の開催 ・行事の開催		・大浴室利用 ・講座の開催 ・行事の開催		・大浴室利用 ・講座の開催 ・行事の開催			
	成果	利用者の生きがいと健康づくりの推進を図ることができた。								
		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。								
	課題									
	指標名称（単位）			実績値			目標値			
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度		
	活動指標	高齢者交流プラザ延べ利用者数（人）		58,644	82,774	95,299	95,500	—		
	活動指標	大浴室利用者数（人）		21,090	30,007	33,858	34,000	—		
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳			
	事業費 ①		89,256	95,375	93,061	96,613	合計	93,061,426 円		
	財源	特定財源	0	200	0	10	役務費	102,772 円		
		一般財源	89,256	95,175	93,061	96,603	委託料	89,660,000 円		
	職員人件費 ②		527	767	637	0	使用料及び賃借料	3,158,954 円		
	総事業費（①＋②）		89,783	96,142	93,698	96,613	備品購入費	139,700 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称				
		6年度までの累積事業費		0						
		8年度以降の事業費見込		0						

会計名			いきいきプラザ管理運営事業				担当部		福祉健康部	
一般会計							担当課		長寿課	
款	項	目					担当係		長寿生きがい係	
3	1	7								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり							
	目的	高齢者福祉の拠点として、生きがいと健康づくりと交流の場を提供し、高齢者福祉の向上を図る。				主たる内容	施設の管理運営を指定管理者である刈谷市社会福祉協議会に委託する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	刈谷市一ツ木福祉センター条例、刈谷市一ツ木福祉センター条例施行規則							
		対象者	60歳以上の高齢者			事業期間	平成10年度～			
	実施方法	■直営 □委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他								
BDO 事業実績 計画V	4年度実績	・トレーニング室利用		・トレーニング室利用		・トレーニング室利用		・トレーニング室利用		
		・歩行プール利用		・歩行プール利用		・歩行プール利用		・歩行プール利用		
		・講座の開催		・講座の開催		・講座の開催		・講座の開催		
		・行事の開催		・行事の開催		・行事の開催		・行事の開催		
	成果	利用者の生きがいと健康づくりの推進及び施設的环境整備を図ることができた。								
		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。								
	課題									
	活動指標	指標名称（単位）			実績値			目標値		
					4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
活動指標		いきいきプラザ入館者数（人）		13,395	18,191	20,624	20,700	—		
活動指標		トレーニング室利用者数（人）		4,391	5,799	7,609	7,700	—		
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳			
	事業費 ①		33,299	37,464	35,434	38,949	合計	35,433,525 円		
	財源	特定財源	81	1,624	90	112	役務費	29,525 円		
		一般財源	33,218	35,840	35,344	38,837	委託料	35,404,000 円		
	職員人件費 ②		527	614	637	0				
	総事業費（①＋②）		33,826	38,078	36,071	38,949				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称				
		6年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料				
		8年度以降の事業費見込		0						

会計名 一般会計			老人デイサービスセンターなのはな管理運営事業				担当部		福祉健康部		
款 項 目							担当課		長寿課		
3 1 7							担当係		長寿生きがい係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心								
		基本施策	高齢者福祉								
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり								
	目的	介護を必要としている高齢者に対して必要 なりハビリテーションや機能訓練を行い、そ の有する能力に応じ自立した在宅生活を営む ことができるよう支援する。					主たる 内容	○施設の修繕			
		位置づけ									
		関連計画									
		根拠法令									
	対象者					事業期間		～			
	実施方法		☐ 直営 ☐ 委託 ☒ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	4年度実績		5年度実績			6年度実績			7年度計画	
・施設修繕の実施 ・コロナ対策消耗品の購入		・浴場床タイル修繕 ・薬液注入ユニット修繕 ・大便器フラッシュバルブ修繕 ・洋風便器取替修繕 ・コロナ対策消耗品の購入			・手洗い水栓等修繕 ・給湯管漏水修繕 ・火災通報装置取替修繕			・施設修繕の実施			
成果		施設の不具合箇所を修繕することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備することができた。									
課題											
指標名称（単位）					実績値			目標値			
					4年度	5年度	6年度	7年度	9年度		
活動指標											
活動指標											
他市との 比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		4年度 （決算）	5年度 （決算）	6年度 （決算）	7年度 （予算）	6年度 事業費内訳			
	事業費 ①		1,340	910	1,470	301	合計 1,470,121 円				
	財源	特定財源	0	0	0	10	需用費 1,458,600 円				
		一般財源	1,340	910	1,470	291	役務費 11,521 円				
	職員人件費 ②		527	537	637	648					
	総事業費（①＋②）		1,867	1,447	2,107	949					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称					
		6年度までの累積事業費		0							
		8年度以降の事業費見込		0							

会計名			高齢者交流プラザ改修事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	長寿生きがい係		
3	1	7								
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり							
	目的	施設の不具合箇所を改修・補修することにより、利用者が安全、快適に利用できる環境を維持する。				主たる内容	○修繕 高圧ケーブル修繕 真空遮断器等修繕 自動制御機器電源カード交換修繕 1階デイサービス浴室換気扇取替修繕 ○工事 大集会室舞台袖手すり設置工事 天井改修工事 給湯設備等改修工事			
		位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
			根拠法令	刈谷市ふれあいの里条例、刈谷市ふれあいの里条例施行規則						
		対象者	60歳以上の高齢者		事業期間		平成28年度～			
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 実績 計画V	4年度実績	【修繕】 ・自家発電設備修繕 ・浴槽設備修繕 ・西側ロータリー歩道修繕 【工事】 ・屋上防水改修工事 ・空調設備改修工事		5年度実績		6年度実績		7年度計画	
			【修繕】 ・消防用設備機器取替修繕 ・浴室設備修繕 ・男性浴室換気扇取替修繕 ・駐車場等舗装修繕 ・屋外排水柵修繕 ・屋根ガラス修繕 ・多目的便所洋風便器修繕 【工事】 ・空調設備等改修工事		【修繕】 ・高圧ケーブル修繕 ・真空遮断器等修繕 ・自動制御機器電源カード交換修繕 ・1階デイ浴室換気扇取替修繕 【工事】 ・大集会室手すり設置工事 ・天井改修工事 ・給湯設備等改修工事		【修繕】 ・非常用蓄電池取替修繕 【工事】 ・空調機取替工事 ・浴槽設備等改修工事 ・大集会室吊物機構撤去工事 ・高圧受変電設備改修工事			
成果		施設・設備の不具合箇所を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備することができた。								
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度		
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
	事業費 ①		101,618	13,063	11,565	10,000	合計	11,565,400 円		
	財源	特定財源	47,000	0	0	0	需用費	2,846,800 円		
		一般財源	54,618	13,063	11,565	10,000	工事請負費	8,718,600 円		
	職員人件費 ②		753	1,074	876	0				
	総事業費（①+②）		102,371	14,137	12,441	10,000				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称				
		6年度までの累積事業費		0						
		8年度以降の事業費見込		0						

会計名			いきいきプラザ改修事業				担当部		福祉健康部	
一般会計							担当課		長寿課	
款	項	目					担当係		長寿生きがい係	
3	1	7								

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり						
	目的	施設の不具合箇所を改修・補修することにより、利用者が安全、快適に利用できる環境を維持する。				主たる内容	○修繕 ボイラー集熱ポンプ部品取替修繕 小便器内部部品修繕 ○委託 非常用発電設備設置工事実施設計業務委託		
		位置づけ							
		関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市一ツ木福祉センター条例、刈谷市一ツ木福祉センター条例施行規則						
	対象者	施設利用者			事業期間	平成28年度～			
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							

BDO 事業実績 計画 実施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画			
			【修繕】 ・ロスナイ取替修繕 ・ブラインド修繕 ・事務室床修繕 ・多目的トイレ修繕 【工事】 ・プール用ユニットヒーター改修工事 ・エレベーター改修工事 ・電話交換機等改修工事		【修繕】 ・ボイラー集熱ポンプ部品取替修繕 ・小便器内部部品修繕 【委託】 ・非常用発電設備設置工事実施設計業務委託		【修繕】 ・ブラインドカーテン等修繕 【工事】 ・非常用発電機設置工事			
	成果	施設・設備の不具合箇所を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備することができた。								
	課題									
	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
	成果指標									
	成果指標									
	他市との比較検証									

C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	42,239	2,894	42,500	合計	2,894,100 円
	財源	特定財源	0	14,000	0	0	需用費	518,100 円
		一般財源	0	28,239	2,894	42,500	委託料	2,376,000 円
	職員人件費 ②		0	691	876	0		
	総事業費（①+②）		0	42,930	3,770	42,500		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	6年度特定財源名称			
		6年度までの累積事業費		0				
		8年度以降の事業費見込		0				

会計名			健康づくり推進施設補助事業				担当部		福祉健康部	
一般会計							担当課		長寿課	
款	項	目					担当係		長寿生きがい係	
4	1	1								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	健康づくり							
		施策の内容	健康の増進							
	目的	市民の健康を守り福祉の向上に資する。				主たる内容	一ツ木福祉センターの補完施設として、市民に開放されている介護老人保健施設の清掃業務費及び光熱水費を補助する。			
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
	対象者		医療法人豊田会			事業期間		平成10年度～		
実施方法		☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他								
BDO 事業実績 計画V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画			
	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため利用実績はなし。		施設の一般開放、介護予防教室の開催		施設の一般開放、介護予防教室の開催		施設の一般開放、介護予防教室の開催			
	成果		一ツ木福祉センターを補完することができた。							
	課題									
	指標名称（単位）		実績値			目標値				
	成果指標	日頃から健康づくり活動を実践している市民の割合（％）	4年度	5年度	6年度	7年度	9年度			
指標		68.3	—	65.5		70				
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳			
	事業費 ①		8,855	8,970	10,145	9,708	合計 10,145,000 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 10,145,000 円			
		一般財源	8,855	8,970	10,145	9,708				
	職員人件費 ②		226	537	637	0				
	総事業費（①＋②）		9,081	9,507	10,782	9,708				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称				
		6年度までの累積事業費		0						
		8年度以降の事業費見込		0						